

# 5. 遊水効果の検証

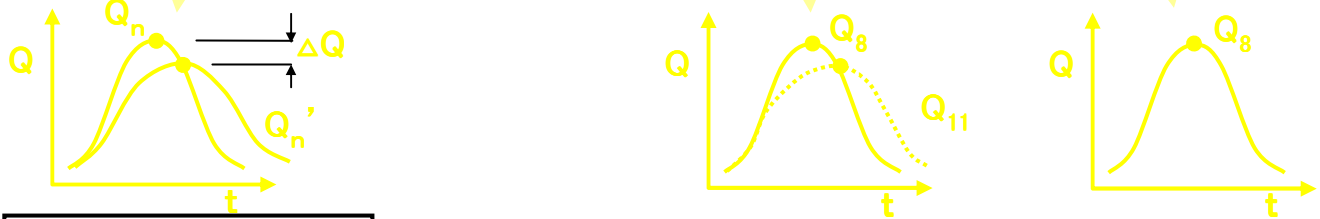
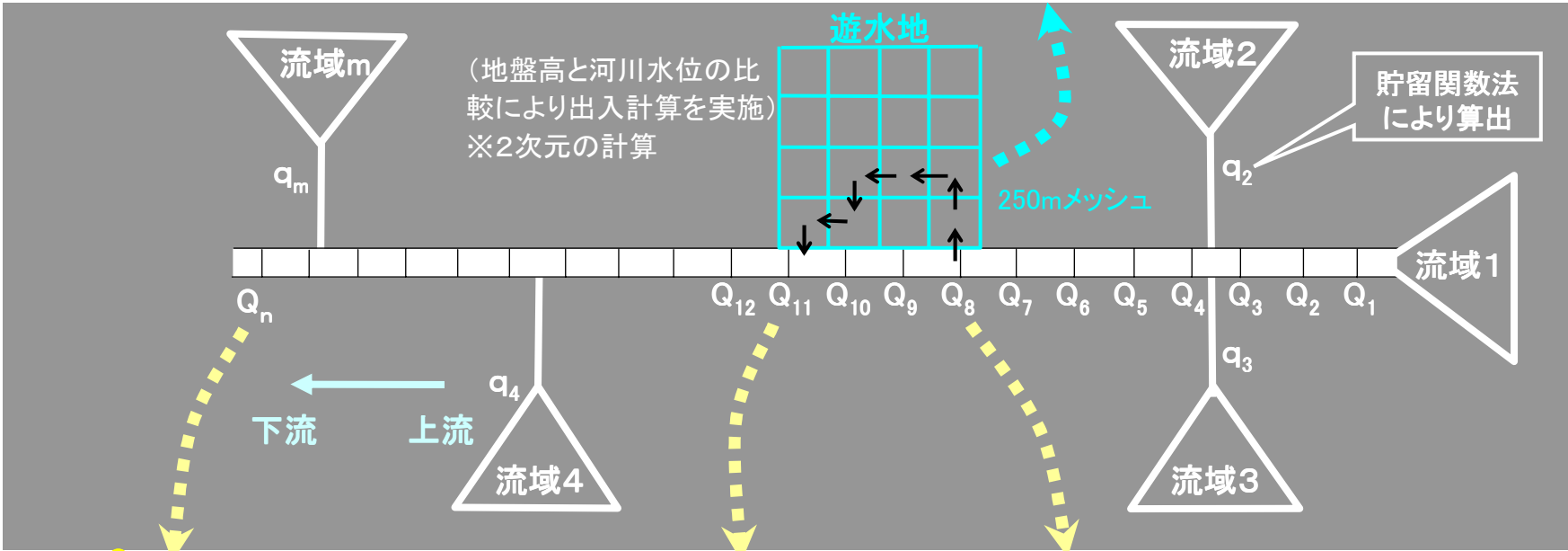
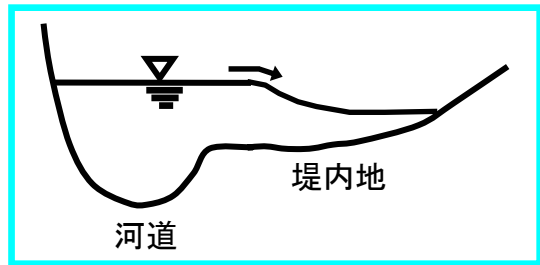
前述した上野地区及び安田嶋地区の遊水効果の検証を行うために、以下の条件での検証を行う。

## ● 検証条件

- ・解析手法 : 氾濫解析(二次元不定流計算)
- ・対象降雨条件 : S34.9洪水 × 1.0
- ・大滝ダム条件 : 2,500m<sup>3</sup>/s一定放流
- ・河道条件 : S34.9洪水 × 1.0の対策後  
(上野地区及び安田嶋地区の対策を除く)

# ● 洪水解析モデルについて

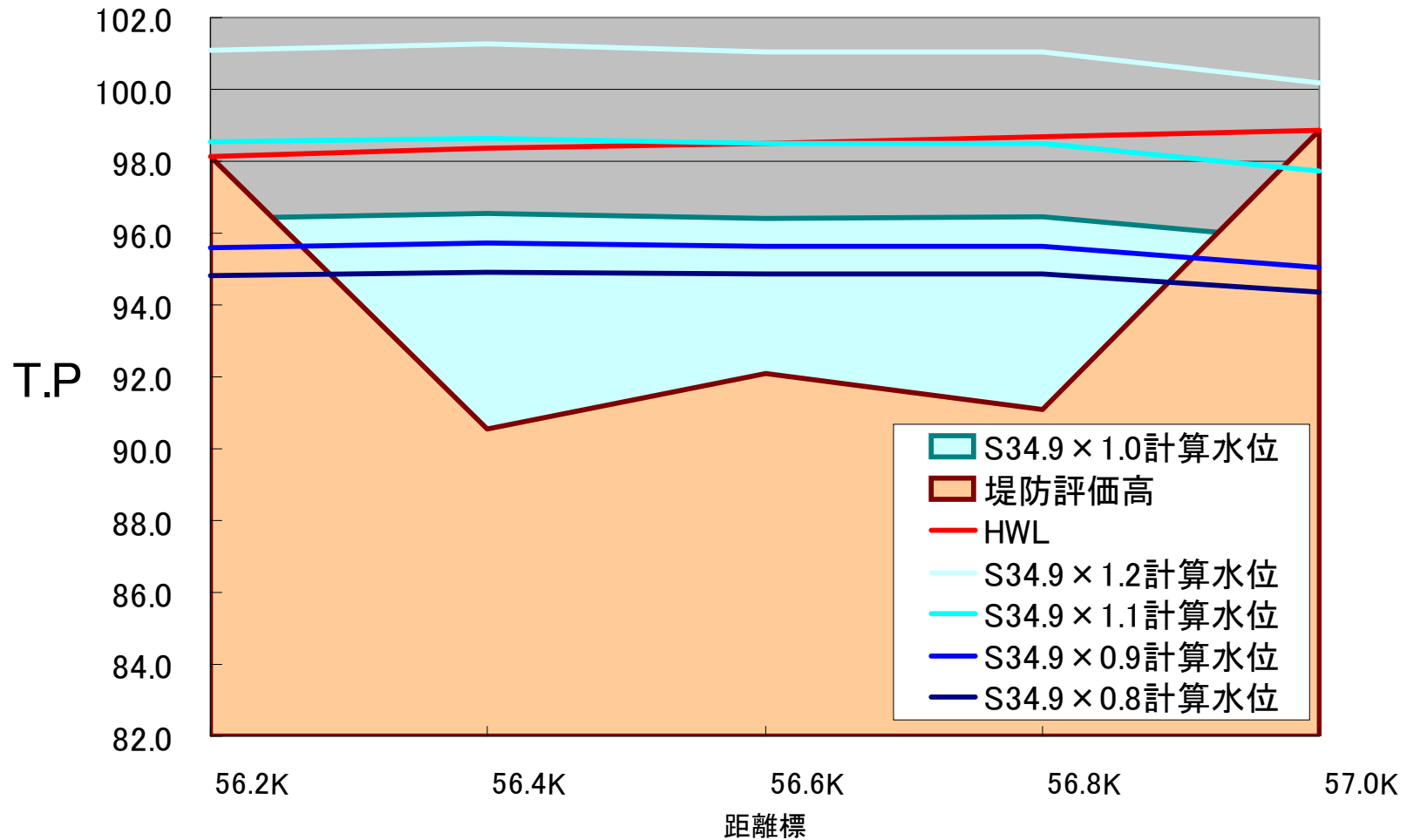
## ▼ 氾濫解析モデル



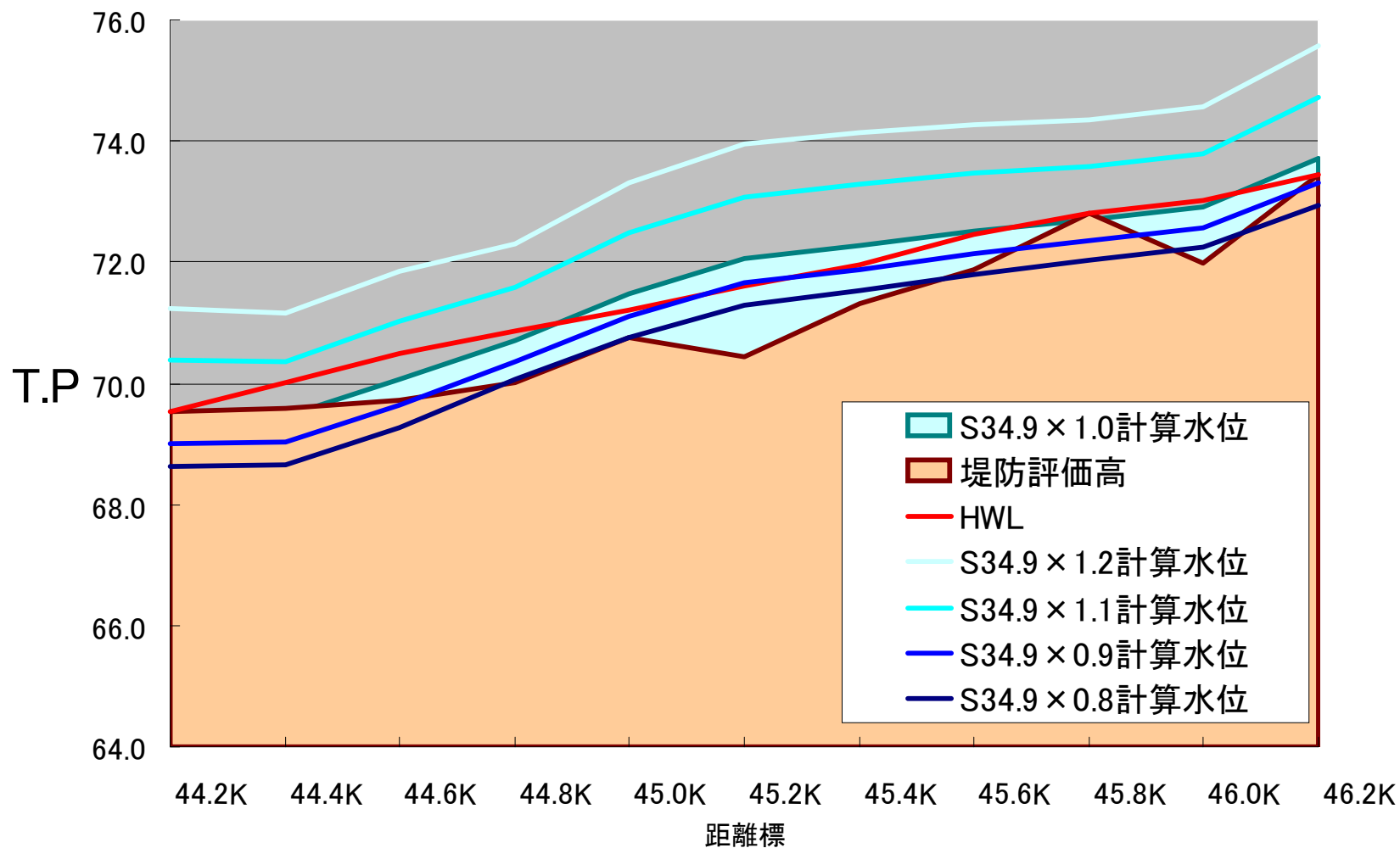
$Q_n'$  : 遊水地がない場合  
 $Q_n$  : 遊水地がある場合  
 $\Delta Q$  : 遊水地による効果

# ●堤防と水位の関係

## ○上野地区



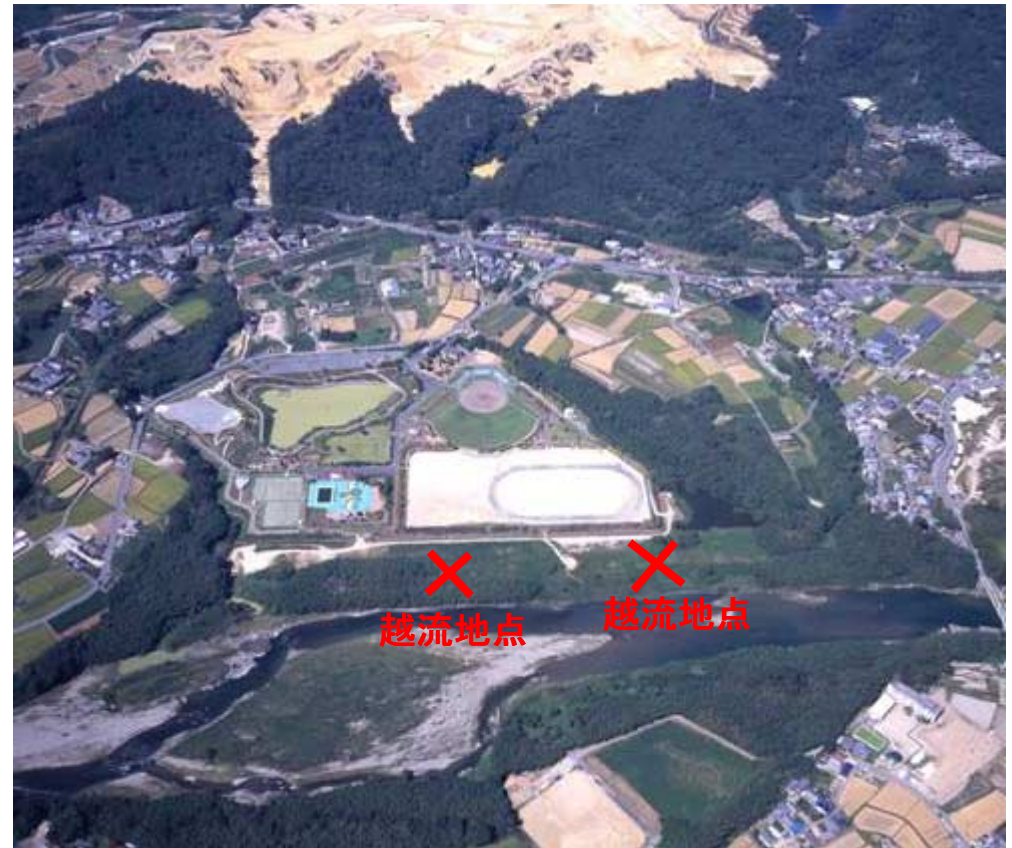
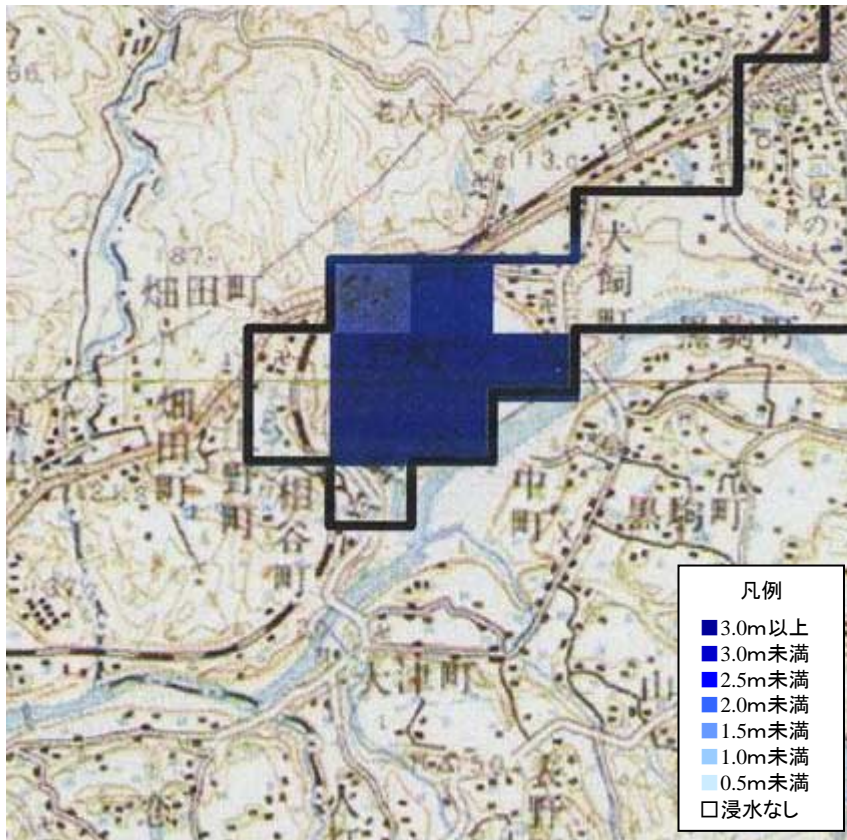
# ○安田嶋地区



# ● 氾濫状況

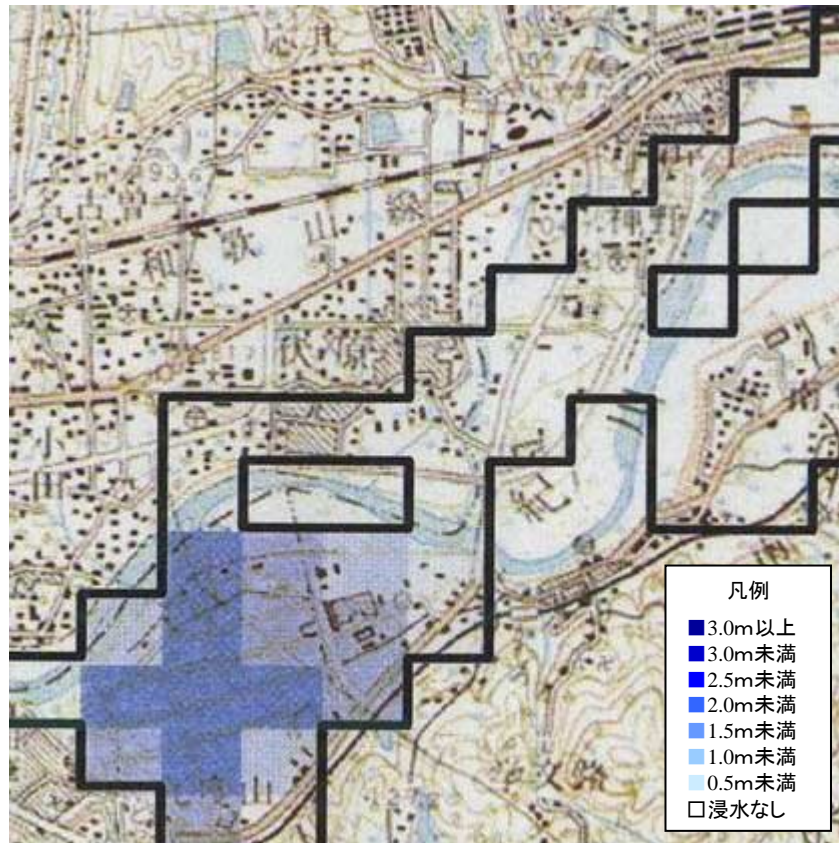
## ○ 上野地区

上野地区及び安田嶋地区の対策を施さない場合の氾濫状況は、以下のとおりである。



## ○安田嶋地区

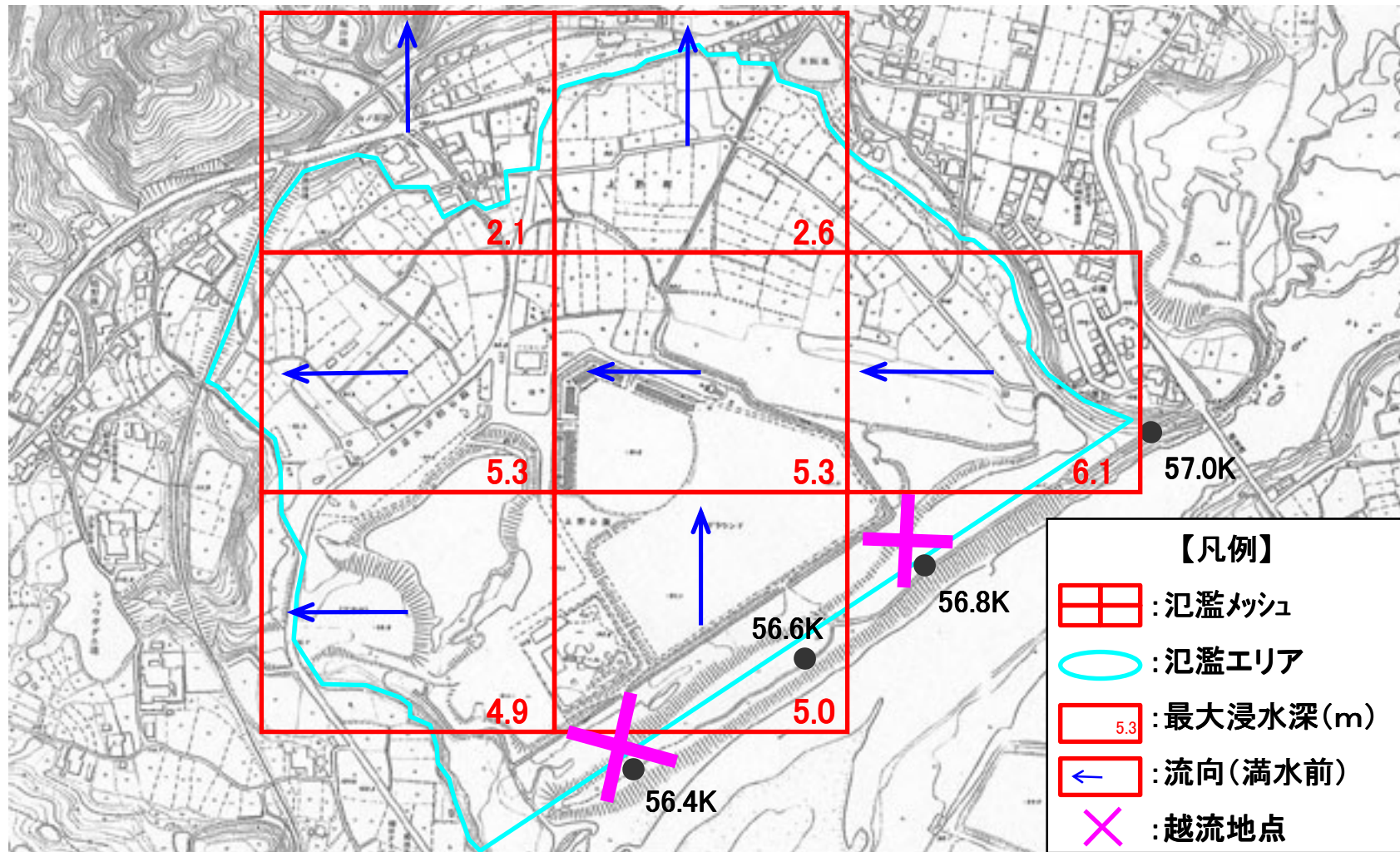
上野地区及び安田嶋地区の対策を施さない場合の氾濫状況は、以下のとおりである。



# ● 氾濫エリアの詳細

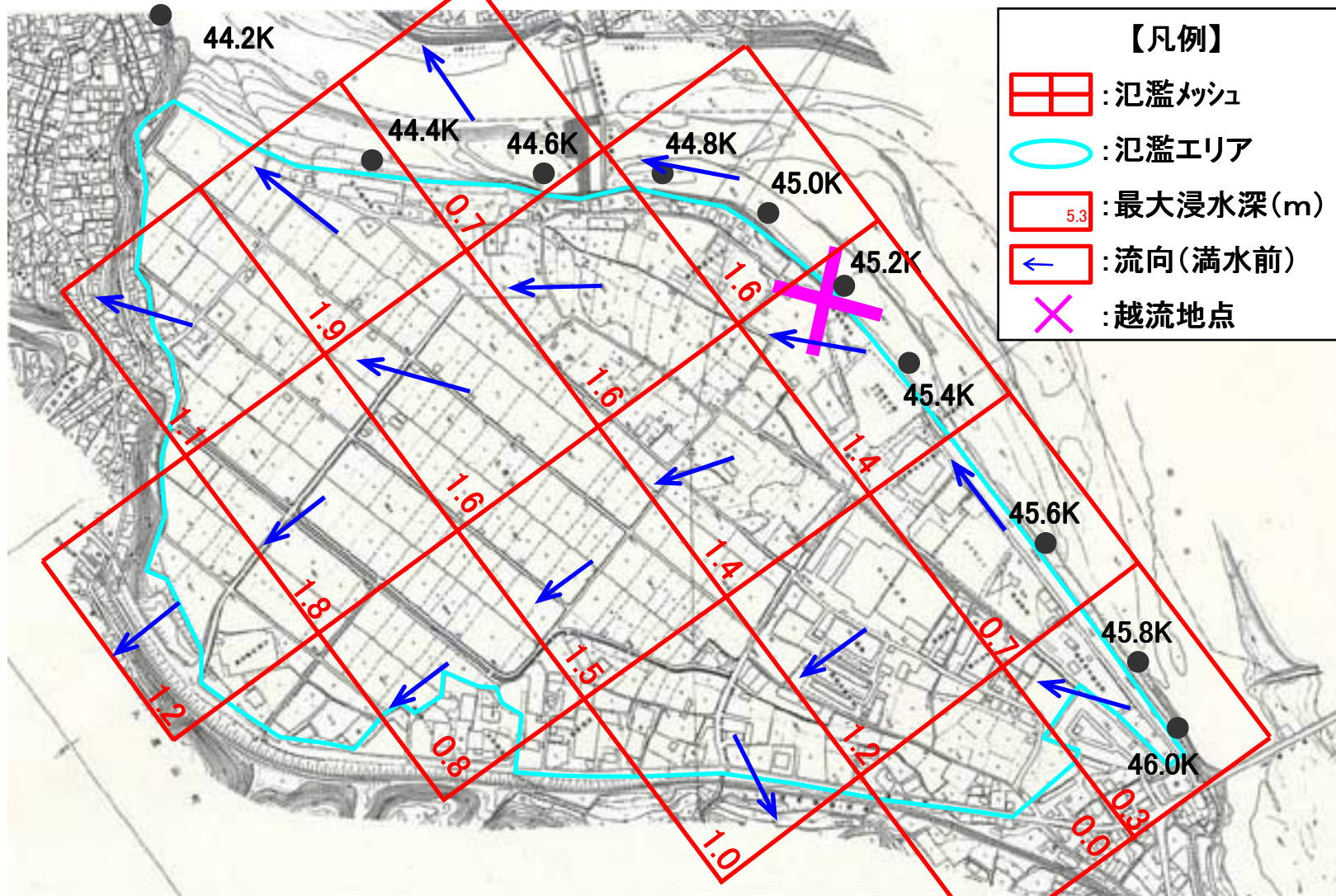
## ○ 上野地区

上野地区の氾濫範囲、浸水深、流向、越流地点は、以下のとおりと想定される。



# ○安田嶋地区

安田嶋地区の氾濫範囲、浸水深、流向、越流地点は、以下のとおりと想定される。





# ●流出低減効果

上野地区及び安田嶋地区の流出低減効果は、以下のとおりである。

(昭和34年9月型洪水(伊勢湾×1.0))

単位:m<sup>3</sup>/s

	岩出	藤崎	小田
氾濫なし	6,670	6,290	5,920
上野地区	6,650	6,280	5,910
流出低減効果	20	10	10
安田嶋地区	6,590	6,210	5,860
流出低減効果	80	80	60

# ●問題点の整理

- ・氾濫エリアにおける地権者の同意・協力が必要
- ・土地利用規制が必要(宅地開発の規制)
- ・宅地嵩上げ又は輪中堤等の家屋等を守る施設が必要
- ・家屋等へのアクセス整備が必要